

令和6年6月21日
北海道開発局

「地域共創インフラツアー」第三弾！

～地域と共に創り上げるストーリー性のあるインフラツアーを企画・催行する旅行会社を募集～

北海道開発局では、公共施設(インフラ)を観光活用することにより地域活性化に貢献するとともに、インフラへの理解を深めていただくことを目的に、インフラツーリズムに取り組んでいます。

このうち、「インフラが支えた地域発展の歴史」を柱に、地域の「歴史、産業、文化、食」といった様々な要素を取り入れ、地域と調整しながらストーリー創りを行い、関係機関と連携してツアーを実施していくことで、インフラを観光資源とし、地域活性化のためのツールの一つとして幅広く活用されることを目指した「地域共創インフラツアー」を実施します。

第三弾として、各テーマに沿ったツアーを、各開発建設部及び地域の関係者と共に企画し、催行していただける旅行会社を下記のとおり募集します。

記

1 ツアーテーマ

(小樽編) 「日本一の清流「尻別川」が育む豊かな食を知って味わう旅」

(室蘭編) 「平取町でアイヌ文化と沙流川の役割を学び、体感するツアー」

(稚内編) 「稚内発展の歴史」

(豊富幌延編)「地域の恵みを知ろう！～インフラ整備から牛乳製造まで～」

2 募集期間 令和6年6月21日(金)～令和6年7月12日(金)

3 申込方法等 応募要領、申込様式、申込先等については、北海道開発局HPをご参照ください。

URL: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001lr55.html>

4 企画内容等 詳細は別紙をご参照ください。

※ 第四弾については、準備が出来次第、募集を開始しますので、改めてお知らせします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 渡部 成人(内線 5433)

開発監理部 開発連携推進課 上席専門官 杉山 隆一(内線 5837)

開発監理部 開発連携推進課 早川 弘華(内線 5442)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和6年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

ツアーテーマ		時期	予約枠数
小樽編	日本一の清流「尻別川」が育む豊かな食を知って味わう旅	8月下旬	全1回
室蘭編	平取町でアイヌ文化と沙流川の役割を学び、体感するツアー	9月以降	全1回
稚内編	稚内発展の歴史	9月以降	全1回
豊富幌延編	地域の恵みを知ろう！～インフラ整備から牛乳製造まで～	9月以降	全1回

各テーマの詳細、メニューリストは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（小樽編）

日本一の清流「尻別川」が育む豊かな食を知って味わう旅

予 約 枠 8月下旬・1回

担 当 小樽開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

📖 本ツアーのストーリー

尻別川は日本一の清流です。

この清流と流域の肥沃な農地が、食味日本一の米である「らんこし米」や蘭越町の新名物であるレモンのような香りの赤シソ「下阿達」などの豊かな食を生み出しています。本ツアーでは、これらの食の生産現場を見学することができます。

そして、尻別川の清流と豊かな食を育む農地を守っているのが、北海道開発局の治水事業であり、その役割について当局職員が解説します。

さらに、豊かな食を実際に味わっていただくことで、尻別川と食の関わりについて理解を深めていただけます。

メニューリスト

◆インフラ施設一覧

◇尻別川関連施設

- ・「らんこし米」と「下阿達」の生産現場
(数々の賞を受賞した「らんこし米」と蘭越町のみで栽培される「下阿達」の生産現場を、解説付きで見学。)
- ・北海道開発局職員による小樽開発建設部の治水事業ガイド
(農地と尻別川の清流を守る治水事業について、北海道開発局職員が解説。)
- ・倶知安風土館
(尻別川流域の自然、農業、歴史などについて学芸員が解説。)

●連携できそうなメニュー一覧

- 幽泉閣 or 町内飲食店（「らんこし米」を使用した昼食、デザートやドリンクを堪能。）
- 幽泉閣（温泉入浴施設。「下阿達」を使用した薬湯・サウナを体験可能。「らんこし米」や薬用植物商品などの特産品も購入可能。）
- カヌー体験（ランラン公園から出発。）

地域共創インフラツアー（室蘭編）

平取町でアイヌ文化と沙流川の役割を学び、体感するツアー

予約枠 9月以降・1回

担当 室蘭開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

📖 本ツアーのストーリー

日高地方に流れる沙流川は古くからアイヌ民族が生活の拠点にしており、現代においても平取町二風谷を中心に胆振日高はアイヌ文化が色濃く残る地域として知られています。

また、沙流川流域では、洪水調節や流水の正常な機能の保持、利水や発電などの役割を果たす「二風谷ダム」と「平取ダム」が日々稼働しています。

この2つのダムは、流域の自然環境保全に取り組むだけでなく、まちづくりと連携した地域経済の活性化やにぎわいの創出など、人々の生活や産業を守る役割も担っております。

本ツアーでは、現代の社会インフラである「ダム」施設と古来より続く「アイヌの伝統文化」が共生・共存する沙流川地域やアイヌの文化振興等の拠点施設である民族共生象徴空間（ウポポイ）などのアイヌ民族の暮らしと文化を学び、体感することができる各施設を巡ることで、地域の歴史・文化についてより深く学ぶことができます。

メニューリスト

◆インフラ施設一覧

- ① 二風谷ダム
- ② 平取ダム

●連携できそうなメニュー一覧

- 民族共生象徴空間（ウポポイ）
- 平取町アイヌ文化情報センター
- 二風谷アイヌ文化博物館
- 沙流川歴史館
- 平取町アイヌ工芸伝承館（ウレシパ）
- ユーカーラの里アイヌ生活資料館
- 知里幸恵銀のしずく記念館

地域共創インフラツアー（稚内編） 稚内発展の歴史

予 約 枠 9月以降・1回

担 当 稚内開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。
※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

📖 本ツアーのストーリー

稚内港北埠頭に設置されている稚内港北防波堤ドームは、稚内と旧樺太を結ぶ「稚泊航路」の連絡船発着場の乗客や貨物を波浪から守るため、昭和11年に完成しました。旧樺太や利尻島・礼文島への玄関口として、戦前の稚内の賑わいの創出に寄与してきただけでなく、「半アーチ型」の世界的にも類をみない建造物の特徴から「北海道遺産・土木学会推奨土木遺産」にも認定されました。その後、平成20年に中央埠頭にて「稚内フェリーターミナル」が供用を開始し、発着場の役目を終えた現在では、イベント会場や観光名所として利用されています。

本ツアーを通じて、稚内港北防波堤ドームを中心とした「稚内市の歴史」を学ぶことができます。

メニューリスト

◆インフラ施設一覧

① 稚内港北防波堤ドーム

●連携できそうなメニュー一覧

- 旧瀬戸邸
- 開基100年記念塔
- 樺太記念館
- 北門神社
- 副港市場(温泉、昼食会場)

地域共創インフラツアー（豊富幌延編）

地域の恵みを知ろう！～インフラ整備から牛乳製造まで～

予 約 枠 9月以降・1回

担 当 稚内開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

📖 本ツアーのストーリー

幌延町は北海道の宗谷管内に位置しており、広大な牧草地を生かした酪農経営が展開されています。

現在事業が行われている「幌延地区」は、昭和23年から昭和56年度の間に農業用排水路が整備されましたが、泥炭土に起因した地盤沈下により、排水路は「断面不足による排水機能の低下」、周辺の農用地は「降雨時の湛水被害」・「過湿被害」・「不陸障害」・「埋木被害」が発生するため、牧草の生産量及び農作業の能率が低下する事態が生じており、本事業では「排水路と農用地の機能回復」を目的とした事業を行っています。

本ツアーを通じて、北海道特有の特殊土壌である「泥炭土」に対するインフラ整備から牛乳の製造までの流れを、一体的に学ぶことができます。

メニューリスト

◆インフラ施設一覧

① 国営総合農地防災事業（排水路工事）幌延地区

●連携できそうなメニュー一覧

- サロベツ湿原センター
- 大規模草地牧場
- 豊富牛乳公社
- 豊富温泉（ホテル豊富など）